

荒川区の中小企業対策・まちづくりの推進に関する要望

平成26年7月16日
東京商工会議所荒川支部

東京商工会議所荒川支部では、荒川区産業の振興、地域経済の一層の発展に向け、各企業による経営改善に対する取り組みを地域経済団体として支援しております。荒川区におかれましても、制度融資の拡充や「荒川区ビジネスプランコンテスト」・「荒川区新製品・新技術大賞」の開催に加え、今年度の新規施策であります「小規模事業者経営力強化支援事業」による小規模事業者の設備投資支援、「プレミアム付き区内共通お買い物券の追加発行支援」による商店街振興など各種産業施策推進による中小企業支援を積極的に進めていただき、厳しい経営環境に立ち向かう企業の大きな支えになっております。

わが国は、景気に回復の動きがみられ、また、2020年オリンピック・パラリンピックの開催が決定するなど、将来に対する期待が高まっています。しかしながら、依然として荒川区内の企業をめぐる環境は厳しく、原材料、電気料金、人件費等のコスト上昇、海外諸国との競争激化を受け、売上低迷・採算悪化に苦しんでいる企業は少なくありません。

中小企業支援策の一層の充実、経済活動のインフラとなる都市基盤の整備について、下記のとおり要望しますとともに、産業振興に向けてこれまで以上の相互協力をお願い申し上げます。

I. 中小企業支援策の一層の充実

1. 荒川区内での創業促進

「平成24年経済センサスー活動調査」によると、荒川区内の事業所数は9,695（事業内容等不詳を除く）と23区で唯一1万事業所を下回っており、事業所数の減少に歯止めをかけるためにも区内での新規開業・開業後の定着を図っていくことが重要と考えます。荒川区においては、すでに様々な支援策を講じていただいておりますが、「創業するなら荒川区」というイメージを定着させ、創業希望者を荒川区内に誘引する大胆かつ積極的な支援をお願いします。

【要望事項】

①西日暮里駅周辺再開発と併せた創業支援施設の設置

JR西日暮里駅北東地区の再開発により、西日暮里駅周辺はこれまで以上にビジネス・商業の拠点になることが予想されます。この地区にスタートアップを支援するインキュベーション施設とハンズオン支援の拠点を設けることによる創業促進を提案します。その後、2～3年間に渡るサポートにより、施設からの卒業後も区内に定着する企業が増えると考えます。また、施設の運営において、インキュベーションマネージャーが担う役割は大きく、経験豊富な人材の活用および育成をお願いします。

②商店街の空き店舗の積極的活用

荒川区内での創業の場として商店街の空き店舗の活用を提案します。創業の促進と

商店街の活性化という効果が期待できることから、商店街の空き店舗と創業希望者のマッチングを積極的に行い、店舗の改装や賃料等の助成をする制度の創設をお願いします。

③「創業支援事務所等賃料助成事業」の助成件数拡大

「創業するなら荒川区」というイメージを広く全国に定着させるためにも平成26年度予定の10件から倍増の20件への大胆な助成枠の拡大をお願いします。

④創業支援体制の充実

東京商工会議所荒川支部では日本政策金融公庫（上野支店、千住支店）と連携を図り、創業支援に取り組んでいます。荒川区では、産業競争力強化法に基づく「創業支援計画」の認定を受け、創業支援に取り組んでおられますが、さらなる支援体制充実のため、東京商工会議所荒川支部および日本政策金融公庫（上野支店、千住支店）を創業支援計画の創業支援事業者として加えていただくことを要望します。

2. 事業承継施策の推進

創業促進により事業所数の増加を図るとともに、円滑な事業承継による既存事業者の事業継続を支援することが事業所数の歯止めには不可欠であり、東京商工会議所とともに一層の支援をお願いします。

【要望事項】

①後継人材の育成支援

中小企業の経営者の平均年齢は67.7歳、小規模事業者に限ると70.5歳と上昇傾向にあります（中小企業白書2013）。世代交代をするためにも後継人材の育成は必要です。東京商工会議所荒川支部では若手経営者ゼミナール等により後継人材の育成に取り組んでおります。また、今年度より荒川区の産業を担う若手経営者の横断的な勉強・交流の場となる“あらかわ若手異業種ネットワーク”を立ち上げ若手経営者がお互いに切磋琢磨し、成長できるよう支援を行ってまいります。荒川区におかれましても東京商工会議所荒川支部等と連携を図り、後継人材の育成に強力な支援をお願いします。

②相談体制の充実および各種施策の周知

円滑な事業承継には、早い段階から準備を進めることが重要であり、相談体制の充実および事業承継関連施策の普及・啓発をお願いします。

3. 荒川区の目玉となる産業の育成

区外から注目を浴びる事業者が増えると、相乗効果で周囲の事業者も活性化し、地域の活性化も期待できます。荒川区として特色のある産業の育成に一層の注力をお願いします。

【要望事項】

①「荒川区ビジネスプランコンテスト」の継続実施と受賞企業の支援拡充

平成25年度に実施した「荒川ビジネスプランコンテスト」は地域の課題解決につながるプランの事業化支援として興味深いものです。隔年毎の継続的な実施をすると

ともに、成功事例の創出に向け、受賞企業に対する低利融資などの金融面や、実際の事業化に向けたハンズオン支援をお願いします。

②「一店逸品運動」の強力なPR

「一店逸品運動」をさらに盛り上げるためにも、対外的な広報宣伝を活発に行っていただくようお願いします。また、「逸品グランプリ」などのイベントを開催し、受賞者を対外的に情報発信することで個店の取り組みを促進するような支援をお願いします。

③「もんじゃ」の街のイメージ強化・認知度向上

・予算措置も含めた中長期的な支援

あらかわもんじゃ学研究会、東京青年会議所荒川区委員会、東京商工会議所荒川支部が中心となって構成する“あらかわもんじゃプロジェクト”では「もんじゃ」にスポットライトを当てる活動を継続実施しております。“もんじゃ”を食べに荒川に人が集まり“もんじゃ”の街として荒川区が広く周知され、地域が活性化するためにも予算措置も含め継続的に支援をしていただくことを希望します。他の地域を凌駕する荒川区のブランドとして“もんじゃ”が定着するよう相互協力をお願いします。

・フードフェスティバル出展事業者への助成制度の創設

東京青年会議所荒川区委員会が主催する「荒川フードフェスティバル」には、荒川区より3年間、にぎわい補助金によるイベント助成があり、特に過去2回はもんじゃにスポットをあてたイベントとして定着してきました。同補助金は3年で終了となりますが、イベントは“もんじゃ”の街としてPRする絶好の場です。区内もんじゃ店の参加を促し、継続的に開催し、もんじゃの街のイメージを定着させるためにも別制度による費用の一部助成支援をお願いします。

・西日暮里6丁目京成本線高架下のもんじゃ店街の設置

もんじゃの街としてのイメージを定着させるには常設の象徴的な場が必要であると考えます。西日暮里6丁目京成本線高架下へのもんじゃ店街設置をまちづくりの視点から、京成電鉄へ協力・働きかけをお願いします。

④ものづくり産業の育成

・荒川区産業展におけるビジネス交流の促進（東京商工会議所荒川支部との連携）

荒川区産業展は区内に定着したイベントとなっておりますが、企業間連携、取引拡大、ビジネス交流等の機能が相対的に弱くなっているとの声があります。TASK等との連携、区外事業者への周知強化など一層の支援をお願いします。

・ビジネス交流会・受発注商談会の開催

請負型から自社製品の開発・販売へビジネスモデルの転換を図る製造・システム開発の事業者が増えており、販路開拓支援の重要性が高まっています。区外の事業者も交えたビジネス交流会や受発注商談会などの積極的な開催をお願いします。また、東京商工会議所荒川支部や金融機関等と連携し、意欲ある中小企業への一層の後押しをお願いします。

- ・ **T A S Kプロジェクトの強化**

ビジネス交流会、受発注商談会でのT A S K地域内の連携強化や、ものづくり大賞のPR強化など、T A S Kプロジェクトを一層後押しするようお願いいたします。東京商工会議所荒川支部も他支部と連携し、協力して推進してまいります。

- ・ **「荒川区新製品・新技術大賞」受賞企業への継続的なフォローアップ**

平成24年度から開始された「荒川区新製品・新技術大賞」は、区内事業者等の意欲向上につながるものです。本賞が歴史ある賞となることで受賞製品の価値も向上することから、隔年毎の継続的な実施を要望します。また、受賞した製品・技術が広く販売・普及されてこそ、当該事業者にとってのメリットはもちろん“モノづくりのまち荒川”のイメージアップにつながります。受賞者のフォローアップ支援をお願いします。

- ・ **産学官金連携機能の強化**

荒川区と友好都市であるつくば市の筑波研究学園都市と連携を強化し、中小企業の課題解決やイノベーション創出に繋がるように支援をお願いします。また、山形大学やつくば市との連携窓口について、事業者への積極的な周知をお願いします。

- ・ **荒川ブランドの認知度向上**

特色のある優れた製造業者、一流職人による優れた製品を生み出す“モノづくりのまち荒川”のイメージを定着させるためにも、「荒川ブランド」の国内外への戦略的なPRにより、認知度の向上を図るようお願いいたします。また、「モノづくり見学・体験スポット」等を強化し、台東区の「モノマチ」プロジェクトのようにモノづくりとまちの魅力を一緒に情報発信し、荒川区に人を呼び込むようなイベントを積極的に行えるような仕掛けづくりをお願いします。

- ・ **ものづくり事業所を活用した社会科見学ツアーの開催**

次世代のものづくりを担う人材育成は“モノづくりのまち荒川”として重要な課題と考えます。区内ものづくり事業所を活用し、小学生や中学生がものづくりの魅力を体感できるようなインターンシップや社会科見学ツアーなどを行うことで、ものづくりに興味を持ってもらうような仕組みの検討をお願いします。

4. 中小企業の資金繰り支援

原材料価格の高騰や人件費の上昇等により依然として中小企業は厳しい経営環境にあります。また、新製品開発や販路開拓などの新しい手段を講じ、経営改善を図るにも、まずは資金が必要となります。引き続き、制度融資等による金融支援にご配慮いただきますようお願いいたします。

【要望事項】

①経営改善借換融資制度の拡充

荒川区「経営改善借換融資」は、中小企業の資金繰り改善の一助となっています。中小企業の経営改善に向けた一層の支援として、信用保証料の補助、追加資金500万円の上限撤廃の検討をお願いします。

②特別融資の重複利用の認容

荒川区の特別融資を利用している場合、現状では完済するまでは原則として同一制度の利用ができませんが、一定期間の元本返済後は重複利用できるなどの要件緩和をお願いします。

③区制度融資の再利用申し込み期間の短縮

現在の制度融資では運転資金の場合、借入日から6か月を経過しなければ次の運転資金を申込みすることができないとなっています。経済のグローバル化が進展し、短時間で事業環境が大きく変化するようになってきていることから期間の短縮をお願いします。

④経営基盤強化融資の限度額の拡充

荒川区「経営基盤強化融資」は、経営基盤が十分とは言えない中小企業にとって、必要性が高いものであり、限度額の拡充をお願いします。

⑤マル経融資への利子補給制度の創設

担保等が乏しい中小企業にとって信用保証制度とともに日本政策金融公庫による融資は貴重な資金調達手段となっており、両者をバランスよく利用することが資金繰りの安定化に繋がります。日本政策金融公庫による融資の中でも、「マル経融資」は、東京商工会議所の経営指導を受け、経営改善に取り組んでいる事業者が利用できる無担保・無保証人の融資です。こうした経営改善に取り組む事業者をさらに支援するために金利負担の軽減策として利子補給制度の創設をお願いします。

※参考 周辺の足立区、葛飾区はじめ、中央、港、品川、大田、世田谷、中野、板橋、練馬、江東の11区で、利用事業者の金利負担軽減の支援策として、利子補給が行われています。

5. 区内業者への官公需の優先的な発注と最低制限価格の引き上げ

荒川区における各種発注に際しては、区内産業の育成の視点から業者指名における区内業者の優先などが行われていますが、昨今の経済情勢等も勘案のうえ、一層の配慮を要望します。

【要望事項】

①適切な予定価格の設定、最低制限価格・設定範囲の見直し

受注業者の経営安定を図り、確実な履行が行われるよう、予定価格の設定にあたっては、原材料価格や人的コスト等の動向を踏まえ、受注業者が適正な利益を確保できるよう、一層適切な積算をいただくようお願いします。また、最低制限価格および設定範囲等については経済状況等を踏まえ、随時見直しを行うようお願いします。

②工事競争入札の平準化

現状、年度末に工事の発注が集中することで、労働力不足等により中小企業では応札を見送るケースもあると聞いています。年間を通しての発注の平準化をより一層お願いします。

6. 認証・規格取得の支援

海外展開の増加や請負型から自社製品の開発・販売にビジネスモデルが転換すること

に伴い、中小企業でも認証・規格等の取得の重要性が高まっています。

【要望事項】

① I S O 認証取得補助の上限額及び補助率の拡充

荒川区の「I S O 認証取得補助」では事業継続（B C P）が追加されるなど中小企業の幅広いニーズに対応する制度となっております。しかし、中小企業にとって認証取得にかかる費用負担は大きいことから、上限額および補助率の拡充をお願いします。

7. 荒川区が行っている中小企業支援施策の認知度向上

荒川区が実施されている様々な中小企業支援策は、毎年充実してきており、周知等のPRにも注力いただいておりますが、依然として施策を知らずに利用できなかったというような声もあります。より広く周知いただきますようお願いします。

【要望事項】

① 支援施策説明会の開催およびタイムリーな情報提供

中小企業支援施策の中には、申込時期が限定されるものもありますので、年度替わりのタイミングで事業者向け説明会の開催を部署横断的にお願いします。また、事業者にとって有用な情報につきまして適宜、周知をお願いします。東京商工会議所荒川支部も積極的に協力させていただきます。

II. 安心・安全でにぎわいのあるまちづくりの推進

1. 住宅・商工業が一体化した街並みを維持する震災対策

荒川区の街並みは住宅と商工業が近接・混在しているところが特徴になっています。首都圏直下型地震が発生した場合に大きな被害が想定されるなか、区民の安全・経済活動の継続を図っていくうえで、商店・工場の建物の耐震強化も必要です。

【要望事項】

① 事業用建物の耐震強化に対する助成制度の創設

「木造・非木造建物耐震化推進事業」では、原則居住用物件が耐震性向上の助成対象になっています。事業所の改築費用の捻出が難しい中小企業は少なくないのが現状で、事業所に対する助成を望む声は多くあります。区内の安全性向上を進めるため、事業専用の建物の耐震強化に対する支援を強く要望いたします。

2. 事業継続計画（B C P）の区内企業への普及促進

災害発生時のライフラインの維持・早期復旧には、地域の企業・商店の経済活動の継続も必要となってきます。また、災害時の混乱を最小限に抑えるためにも、各企業における事業継続計画（B C P）の整備が不可欠です。

【要望事項】

① 中小企業のB C P策定に対する支援

東京商工会議所（本部）では基礎的なセミナーから専門的な連続講座など中小企業のB C P策定支援に取り組んでいます。荒川区でも、これまでセミナーや東京都の事業の周知等に取り組んでおられますが、一層の普及啓発をお願いします。

3. 木造密集市街地の整備促進と対象地区内の事業者への配慮

東京都の「不燃化特区制度」の実施地区として、今後整備を進められることと存じますが、区内には木造密集市街地が多く、不燃化・延焼防止の早期対策をお願いします。また、そうした木造密集地域内で事業を行っている中小企業も多く、道路拡幅等の整備事業に際しては、そうした中小企業が事業継続できるよう配慮をお願いします。

【要望事項】

①空き家や危険な建築物に対する助言・指導・勧告・除却等の実施

条例の制定等により空き家や周囲に影響をおよぼす危険な建築物に対して助言・指導・勧告・除却命令を行い、木密地域の早期解消を図るようお願いします。

②木造密集地域の住民の引越し需要に対する区内事業者の紹介

「木密地域不燃化10年プロジェクト」の進展で区内の引越し需要が増加することが想定されます。区内産業の活性化の観点から区内事業者を優先的に紹介するなどの配慮をお願いします。

4. 災害時の防災用水および生活用水の確保

災害時には消火等の防災用水だけでなく飲み水等の生活用水の確保も不可欠です。他自治体の事例等を参考に整備をお願いします。

【要望事項】

①消防車が入れない地域へのスプリンクラー等の設置

永久水利、防火水槽のルートを利用し水路を延伸し、消防車が入れないような地域にスプリンクラーを設置するなど安全なまちづくりの推進をお願いします。

②民間井戸の消防および災害給水井戸としての整備・活用及び防災地図上への表示

荒川区では現在、荒川公園へ深井戸の整備を進めていますが、火災危険度の高い他地域については同様の整備をお願いします。また、他の自治体では民間にある井戸を活用している事例も見られます。民間と連携・協力して、区内にある井戸を災害時に防災や飲料水として利用できるように整備・登録し、防災地図上に表示するようお願いします。さらに、民間井戸の活用のための整備（ポンプの設置・修理、水質検査）に要する費用の助成についても検討をお願いします。

参考 目黒区・・・大震災等の災害時における生活用水及び初期消火水利の確保を図ることを目的として、震災時協力井戸を指定

世田谷区・・・「災害時の井戸水提供の家」として、個人所有の井戸を区民から募り登録。水質検査は区が負担、手動ポンプの設置・修理については助成

文京区・・・公衆浴場、豆腐店所有の井戸の災害時の使用について協定を締結

③防災用仮設トイレの給水確保について

東日本大震災時にトイレに水が供給されず、避難をされた方が用を足せずに我慢した結果、血栓症ができ心不全、心筋梗塞、脳梗塞、エコノミー症候群等になったと言われております。既に防災用仮設トイレは学校等に普及しておりますが、あわせてプールの水を利用した給水システム等の検討についてもお願いします。

5. 大災害時の帰宅困難者対策

東京都による「首都直下地震等による東京の被害想定」では、東京湾北部で地震が起きた場合、荒川区では4万人弱の帰宅困難者が発生するとされています。被災時には、区内企業にとって、従業員等の一時避難先の確保が深刻な問題になってきます。

【要望事項】

①一時滞在先の周知・被災時の在勤者の行動指針の提示

東京都帰宅困難者対策条例に基づく一時滞在施設については十分に浸透していないことから、区内在勤者に対して災害時のガイドライン等を作成するなど引き続き周知をお願いします。

②備蓄品購入支援および備蓄施設の拡充

東京都で実施している民間一時滞在施設備蓄品購入費用補助事業につきましては広く周知をお願いします。また、帰宅困難者の一時滞在施設とまではならないが、備蓄施設としてのみ協力する事業者等も想定されることから、備蓄施設として協力いただける事業者等を募集・登録し、災害時には一時滞在施設等にスムーズに補充ができるようにネットワーク化をお願いします。あわせて備蓄品購入に係る費用は区で補助し、備蓄施設として判断できるようにステッカーを貼る、防災地図上に表示するなどの対応をお願いします。

6. 災害時の避難拠点としても活用できるスポーツ施設の整備

南千住の荒川総合スポーツセンターは、予約がなかなか取れないとの声も上がっています。築30年に迫ってきていることを契機に、より多くの区民が活用できるように一層の充実をお願いします。

【要望事項】

①南千住の荒川総合スポーツセンターのリニューアル

開設から長い時間が経ち、長期的な計画のもと修繕を進められるものと存じますが、災害時の避難拠点としても活用できる施設として、安全面を一層高めるとともに、運動施設としてもより魅力あるものになるよう整備をお願いします。

②第二スポーツセンターに関する調査・研究の開始

既存の荒川総合スポーツセンターが、区の東側に寄って立地していることもあり、西側にも施設があることが、防災面からも望ましいと考えます。予算面、建設地など、課題は多いと存じますが、調査・研究の推進をお願いします。

7. 円滑な物流機能の確保

トラック輸送等は産業活動や区民生活に不可欠なサービスです。安全で円滑な物流機能の確保に向けて支援をお願いします。

【要望事項】

①不足する荷捌きスペースの確保

区所有地の活用や民間のパーキングとの提携等による荷捌きスペースの設置、拡充

をお願いします。特に、南千住8丁目等の大規模集合住宅等は早急に対応をお願いします。

8. にぎわいを創出するまちづくり

人、モノ、情報を区外から呼び込み、にぎわいを創出することが産業・地域の活性化に繋がります。今後、再開発が進む西日暮里周辺のまちづくりを中心ににぎわいを創出するまちづくりをお願いします。

【要望事項】

①西日暮里周辺のまちづくり

- ・人・モノ・情報が集まる文化・ビジネス拠点としてのまちづくり

これから検討が開始される西日暮里周辺の再開発は、人・モノ・情報が集まる文化・ビジネス拠点として位置づけ、基本構想を明確にし、産業・地域の活性化に繋がるまちづくりをお願いします。

- ・西日暮里6丁目京成本線高架下のもんじゃ店街の設置（再掲）

もんじゃの街としてのイメージを定着させるには常設の象徴的な場が必要であると考えます。西日暮里6丁目京成本線高架下へのもんじゃ店街設置をまちづくりの視点から、京成電鉄へ協力・働きかけをお願いします。

②にぎわい創出に繋がる施設の設置

にぎわいを創出するためには人を呼び込み、集客するための施設が不可欠です。例えば、世界の玄関口と呼ばれる日暮里駅を有する荒川区の特徴を最大限に生かして、西日暮里周辺に国内外から人を呼び込むために国際コンベンションセンターや大規模なイベントホールを設置するなどの検討をお願いします。

③区営アンテナショップの設置

「荒川ブランド」等の区内の商工業者による製品・商品等を販売する区営アンテナショップの設置をお願いします。

III. 地域活性化・観光資源の発掘に向けた取り組みの拡充

1. 地域商業の活性化につながる都電荒川線活用イベントの開催

都電荒川線は荒川区にとって重要な観光資源になっています。これまで以上に地域商業の振興につながるイベントの企画をお願いします。

【要望事項】

①都電荒川線を軸に数多く通っている鉄道路線と一体化したイベントの開催

区内には都電をはじめ、日暮里・舎人ライナー、つくばエクスプレス、JR山手線・京浜東北線、JR常磐線、東京メトロ・千代田線、東京メトロ・日比谷線、京成線など多くの路線が通っています。この資源を活かし、都電荒川線を軸にしながら、区内全域を回遊するイベントの実施をお願いします。イベントの開催にあたっては、“もんじゃ”や“モノづくり見学・体験スポット”を活用し、荒川区の魅力を多くの人々に認識いただく機会を増やしていただくことを要望します。また、継続したイベントとしての定着化を見据えた企画をお願いします。

2. 「奥の細道 千住あらかわサミット」の開催による地域活性化

「奥の細道 千住あらかわサミット」は、松尾芭蕉の矢立初の地である南千住をはじめ、荒川区に内外からの注目を集める絶好の機会になります。数十年に一度の開催を地域活性化のため最大限ご活用いただきますようお願いします。

【要望事項】

①サミット開催を契機にした地域観光情報の発信

俳句文化の普及をきっかけとした荒川区の地域観光情報を広く発信する機会として、サミットおよび関連イベントの企画をお願いします。東京商工会議所荒川支部としても、あらかわ観光ツーリズム連絡協議会の事業活動をはじめ、サミットのPRに取り組んでまいります。

3. 外国人・若者等の誘客による地域活性化

外国人や若者が集まることでにぎわいが創出され事業者が集まり、産業、地域の活性化に繋がります。外国人や若者をターゲットにした地域活性化の支援をお願いします。

【要望事項】

①区内店舗・観光スポットでの外国人対応への支援

店頭での個別接客や、飲食店におけるメニュー、小売店での商品説明カードなど、各種表示などの接客ツールづくりにおいて、特に語学面において不安を感じている事業者は少なくありません。台東区が開いている「外国人旅行者接客研修会」のような意識啓発と接客スキルの向上の支援の検討をお願いします。

②外国人向けの観光情報の発信

外国人観光客は、旅行中、スマートフォン等によりインターネットで情報収集を行っています。荒川区のホームページによる英語・中国語等の観光情報の発信強化をお願いします。また、観光スポットには電子看板を設置し、デジタルサイネージを活用して多言語対応を図るなどの対応をお願いします。

③にぎわい創出に繋がる施設の設置（再掲）

にぎわいを創出するためには人を呼び込み、集客するための施設が不可欠です。例えば、世界の玄関口と呼ばれる日暮里駅を有する荒川区の特徴を最大限に生かして、西日暮里周辺に国内外から人を呼び込むために国際コンベンションセンターや大規模なイベントホールを設置するなどの検討をお願いします。

④日暮里繊維街を中心とした外国人・若者が集まるファッションイベントの開催およびPR強化

日暮里繊維街はわが国有数の繊維関連の集積地です。こうした区内の魅力を最大限に活用して地域活性化を図ることが効果的と考えます。既に日暮里繊維街では日暮里コレクション等のファッションのイベントは行われていますが、ファッションの街として認知度を向上させるために一層のPR強化をお願いします。特に、外国人や若者が集うイベントはにぎわいを創出することから外国人・若者をターゲットとしたPR強化やイベント開催をお願いします。

⑤「街なか商店塾」のPRおよび「モノづくり見学スポット・体験スポット」の強化

「街なか商店塾」や「モノづくり見学スポット・体験スポット」は荒川区の魅力を伝えるために効果的に活用していくべきと考えます。そのためには区内に人を呼び込むことが不可欠であり区外へのPRの強化をお願いします。また、「モノづくり見学・体験スポット」については、台東区の「モノマチ」プロジェクトのようにモノづくりとまちの魅力を一緒に情報発信し、荒川区に人を呼び込むようなイベントとして活用するなどの検討をお願いします。

4. 隅田川を活用した地域活性化

荒川区は北側と東側の全てを隅田川に囲まれています。河川の魅力を活用した観光まちづくり、地域活性化をお願いします。

【要望事項】

①隅田川沿いの区内外の観光資源を巡る観光まちづくり

荒川・台東・墨田区などの墨田川沿いの各区にある観光スポットに水陸両用バス等を運行し、隅田川経由で移動できるようにするなど、近隣他区、都とも連携して、河川を活用した観光まちづくりをお願いします。また、河川は移動手段だけでなく、水辺空間は観光的要素も持ち合わせています。そうした空間を楽しんでいただくためにも直立堤防（カミソリ堤防）への壁画等による美観の改善をお願いします。

5. 地域観光資源の発掘・活用

区内に人を呼び込むためには、従来からある観光資源を活用するだけでなく、新たな観光資源を発掘することも不可欠です。

【要望事項】

①荒川自然公園に隣接する三河島水再生センター内の赤レンガ施設の観光活用

荒川自然公園に隣接する三河島水再生センター内にある赤レンガ造りの建物は景観も美しく、公園の豊かな自然と調和し、観光資源としての価値が高いものです。東京都に働きかけるなど、荒川区の観光資源としての活用を積極的に図るようお願いします。

②都営バス「東日暮里5丁目」停留所の「日暮里繊維街」等への変更

日暮里繊維街はわが国有数の繊維関連の集積地です。こうした区内の魅力を活用することに加え、来訪者にとってわかり易いという視点から、最寄りの都営バス「東日暮里5丁目」停留所を「日暮里繊維街」に変更できるよう東京都への働きかけをお願いします。

6. 「2020年東京オリンピック・パラリンピック」による区内活性化

2020年の東京オリンピック・パラリンピックは世界が注目する一大イベントです。しかし、区内では競技の開催がなく、関連施設もないことから、東京開催でありながら荒川区では盛り上がり欠けるのではないかとこの声も聞かれています。2020年東京

オリンピック・パラリンピックの盛り上がりを区内活性化に繋げるための取り組みをお願いします。東京商工会議所荒川支部も協力して取り組んでまいります。

【要望事項】

①区内への聖火リレーの誘致

前回の東京オリンピックでは南千住のコツ通りを聖火リレーが走り、大勢の人々が集まり、大変な賑わいだったと聞いております。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでも荒川区で聖火リレーが行われるように働きかけをお願いします。

②誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境の整備

オリンピック・パラリンピックを契機に誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境を整備することは区民の健康増進、オリンピック・パラリンピックへの関心喚起、気運醸成にも繋がります。スポーツ等のレクリエーションの場となる施設・公園等の整備をお願いします。

平成26年7月9日
第140回役員会決議
第91回評議員会決議